

横浜から世界へ 羽ばたく



フィリピン産のバナナを食べながら、現地の人々の生活について学ぶ。1年生にとっては初めての「国際学習」。「楽しく学ぶ」ことがコンセプトだ

総合的な学習の時間の一環として、「国際学習」を取り入れている横浜市立平楽中学校。全校挙げてのこの取り組みは、今年で14年目を迎える。3年間の授業を通じて生まれたさまざまな、気付きが子どもたちの「行動」を後押ししている。

国際都市・横浜から 足元を見つめる学習を

観光地としても有名な横浜の中華街から「港の見える丘公園」を抜け、しばらくバスで走っていくと、住宅街の一角にある校舎から元気な声が聞こえてきた。
「安くても手に入るバナナを、日本が最も多く輸入している国はどこでしょう？」
「うーん、フィリピン？」
「正解。フィリピンと日本は同じ島国ですが、いったいどこにあるでしょう？」
「はい、僕、知ってる！」
黒板にはアジアの地図が貼られており、生徒がフィリピンの場所に色を付ける。これは、横浜市立平楽中学校の「国際学習」の「コマ」だ。

2009年に開港150年を迎え、世界有数の国際都市として知られる横浜市。平楽中学校では、世界のさまざまな問題に対する学びを深められるよう、ユニークな授業を取り入れている。「世界の問題に目を向けることで、自分の街や生活について見つめ直してほしい」と山義校長。そこでスタートしたのが「国際学習」だ。公立であるが故に、数年ごとに先生は異動

する。学校として、このような取り組みを続けていくことは決して容易ではない。しかし、「子どもたちに視野を広げてほしい、共に学び合い、成長して欲しい」という確固たる思いは引き継がれ、今年で14年目を迎える。

教室での学びを通じて 自分ができることを考える

平楽中学校の「国際学習」は毎年5月。総合的な学習の時間を活用し、約4週間かけて行われる。1週目の授業では、全校生徒が体育館に集まって話を聞く。「まずは私たち一人一人が、地球で起きている問題に耳を傾けることから始めましょう。国際学習はその第一歩です」。山



グループに分かれて、思い思いに意見をぶつけ合う

本大祐先生の言葉に、全員が真剣に耳を傾けている。

次の学びの場は各クラスの教室。その内容は二本立てだ。まずは、日本で国際協力にかかわっている人による「出前講座」。国際協力NGO、JICA、教員、途上国からの留学生など、講師陣のラインナップは多種多様だ。「毎年来ていただいている団体もあれば、開発教育の研修などで知り合った方をお願いすることもあります。国際協力の現場で活躍している日本人から話を聞くことで、世界をより身近に感じてもらいたい」。そう話すのは山本ちなみ先生。長年にわたり、平楽中学校の「国際学習」を支えてきたキーパーソンだ。
「実は若いころ国際協力にあこがれて、青年海外協力隊に応募したこともあるんですよ」と笑う山本ちなみ先生。教員になる前は、インドやネパールなどを一人で

旅した経験を持つ。そんな山本ちなみ先生の話も、子どもたちにとっては興味深く新鮮だ。3年生の加藤恵里奈さんは「世界には普通に学校に行けない人が多くいる。今の生活に感謝しなければならぬですね」と語ってくれた。

国際協力の「最前線」で働く人の話を聞いたたり、ワークショップを行った後は、1年生はバナナを切り口にした学習、2年生は貿易ゲーム、3年生は世界で起きている問題の一つを選んで議論する。学年が上がるごとに、「学び」が進化する仕組みになっているのだ。このような一連の学習を経て、生徒たちはそれぞれの思いを作文にまとめ、校内スピーチコンテストで発表するという流れだ。「授業を通じて学んだことを言葉にし、他の仲間と共有することが大切。そして、学習したことをきっかけに自分の生き方につなげていってほしい」と山本ちなみ先生は話す。

小久保里奈さん（3年生）の昨年の作文のテーマは「地球に優しく」。「東日本大震災の後、節電を意識しているつもりでした。でも自給自足の生活を送っているラオスの人たちの話を聞いて、まだまだできることがあると感じました」。彼女の作品は「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2011」で佳作を受賞。「英語を勉強して、将来は世界の人のためになる仕事に就きたい」と目を輝かせる。



青年海外協力隊OGの森田麻由さんからガーナの話聞く生徒たち。民族衣装にも興味津々



授業内容も先生によってさまざま。教員同士で話し合い、教材にも工夫が重ねられている

夏休みの時間を使って、 あなたの国際協力への思いを 伝えてみよう!

①「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2012」
テーマ：「これからの日本、これからの世界—私たちができること—」
応募資格：中学生・高校生
募集期間：6月14日～9月14日(当日消印有効)
Eメール：jica.essay@joca.or.jp

②「グローバル教育コンクール2012」
募集部門：「写真・映像」「国際協力レポート」
応募資格：「グローバル教育」を実践している方
募集期間：6月4日～10月22日(当日消印有効)
Eメール：global-oubo@joca.or.jp

問い合わせはこちら
〒102-0082 東京都千代田区一番町23-3 日本生命一番町ビル5階 (公社)青年海外協力協会内
TEL：03-3556-5926(直通)
FAX：03-6261-0259

詳細は、JICA地球ひろばのホームページ
www.jica.go.jp/hiroba/ をご覧ください。